

名張で
違いの分かる
おいしい野菜を
作ります

名張は有機野菜を
手に入れやすい！

名古屋市出身
原田 二郎さん

八尾市出身
土手川 千幸さん



2人は旬の野菜などを栽培しながら、有機農業を学んでいます

有機農業で地域おこしを！

3/1に着任した地域おこし協力隊2人が活動中

有機栽培ノウハウを習得し、生産や消費の拡大などに取り組むため、土手川千幸さんと原田二郎さんが3月1日に「地域おこし協力隊」として着任しました（任期は最長3年）。現在はそれぞれ、手づくり農園（赤目町柏原）と福広農園（薦生）で有機農業を学んでいます。

有機野菜とは、農薬や化学肥料を使わずに作られた野菜のこと。大阪府でローフード（生野菜や果物を中心とする食事）の料理教室を開いていた土手川さんと、横浜市などで中国料理の調理師をしていた原田さんは、料理をする中で有機野菜のおいしさに目覚め、自ら生産したいと思うようになり、協力隊に応募したそうです。

土手川さんは「有機農業を通じて名張をよくする活動をしたい」、原田さんは「質の良いおいしい有機野菜をたくさんの人に届けたい」と力強く語ってくれました。

災害時 ペットと避難するために

つつじが丘で市内初のペット同行避難訓練(5/12)

避難所でペットと一緒に受け入れるための「ペット同行避難訓練」を、市と地域が連携して5月12日に市内で初めて実施。会場のつつじが丘市民センターには、約20匹のペットとその飼い主など約50人が集まりました。

地域の行事用のテントや学校の備品、サッカーゴールなどを使ったペットスペースに、受付を終えた飼い主がペットを誘導。番号の書かれた札などをペットやケージにつけて、受付情報と照合できるようにします。

愛犬と参加した人は、「ペットと避難する訓練が行われて嬉しいですが、リードをつなぐ場所など改善してほしいところも。今後他の地域でも実施してもらって、何度も訓練に参加したいです」と話していました。



受付では、飼い主の名前や住所、ペットの情報などを記入



記入した情報と照合するため、ペットには番号札をつける



サッカーゴールやハードルなどで作られた避難所のペットスペース



どうする？これからのごみ処理

4市町村ごみ処理広域化検討協議会が初会合(5/1)

名張市、伊賀市、京都府笠置町と南山城村の4市町村でごみ処理の広域化を検討する法定協議会が4月1日に設置され、5月1日に初会合。名張市と伊賀市のごみを処理する施設が操業期限を迎える2034年3月末までに、持続可能なごみの適正処理の体制を確保するため、検討を進めていきます。